

中央アジア国際協力フォーラム

近年多様で広範な地球規模での課題が頻出していますが、なかでも貧困と格差は依然として最大の課題となっており、途上国、移行国といわれる国の人々に対して、どのような形で国際貢献、国際協力をなし得るかは、国のみならず地域にとっても大切な課題となりつつあります。

釧路公立大学地域経済研究センターでは、地域の立場での国際貢献、国際協力のあり方を探るため、「北海道開発政策の経験を活かした中央アジア地域への国際貢献のあり方に関する研究」に取り組んでいます。中央アジア5カ国は、旧ソ連邦崩壊後、計画経済から自由主義経済への移行に向けての模索を続けており、日本の戦後経済復興の経験に対しては大変高い関心を持っている地域です。

今回のフォーラムは、この研究の一環として国際協力事業団（JICA）の前ウズベキスタン JICA 所長で現在 JICA 東アジア・中央アジア課長の新納宏氏及び同氏とともに活動されている田邊秀樹氏をお招きし、中央アジア地域の現状と課題、さらに同地域に対して北海道開発の経験をどのように活かすことができるかについて考える場としたいと考えています。

『我が国における国際協力の課題と方向と中央アジアの現状』

国際協力事業団 アジア第2部 東アジア・中央アジア課長 新納 宏 氏

『中央アジアの課題と国際協力のあり方 ウズベキスタンの例』

国際協力事業団 アジア第2部 東アジア・中央アジア課 田邊秀樹 氏

『北海道開発の経験と中央アジアへの支援』

釧路公立大学地域経済研究センター長 小磯修二

釧路公立大学 1階 第2会議室
(釧路市芦野4丁目1番1号 電話 0154-37-5325)

2003年9月6日(土) 午前10時～12時

参加料は無料ですが、参加ご希望のかたは事前にお申し込みをお願いいたします。

釧路公立大学地域経済研究センター 電話 0154(37)5325